



2025/2026

シーズンラインアップ

Opera

公益財団法人 日本オペラ振興会
The Japan Opera Foundation

藤原歌劇団・日本オペラ協会
The Fujiwara Opera・Nihon Opera Kyokai



藤原歌劇団 The Fujiwara Opera

藤原義江を中心とする日本の代表的な歌手たちとスタッフによって、1934年6月日比谷公会堂においてプッチーニの「ラ・ボエーム」が上演され、藤原歌劇団が誕生。以来、わが国初の本格的オペラ団体として今日まで公演活動を継続し、日本初演を含む80作品を超えるオペラをこれまでに上演し、特にイタリア・オペラを主軸とする公演路線は広く親しまれている。藤原義江は人気テノールとして主役で活躍するかたわら、初代総監督

として38年間藤原歌劇団を統率し、日本のオペラ界の先駆者として偉大な功績を残した。以来、国際レベルの舞台で名作を中心にオペラの普及を目指し、1986年から日本で初めて字幕を導入し新風を吹き込むなど画期的成功を収め、日本オペラ界の向上・発展に大きく寄与。2016年よりバリトンの折江忠道が五代目総監督に就任し、「ドン・パスクワレ」「カプレーティ家とモンテッキ家」「ラ・チェネントラ」「イル・カンピエッロ」「劇場のわがままな歌手たち」など上演機会の少ないベルカントオペラに加え、「リゴレット」「イル・トロヴァトーレ」「二人のフォスカリ」などヴェルディ作品も多数とりあげ、「イタリアオペラの藤原歌劇団」を確固たるものとしている。



日本オペラ協会 Nihon Opera Kyokai

日本オペラ協会は、1958年に教育オペラ研究会として発足し、60年に日本オペラ研究会、70年に「日本オペラ協会」と改称。以来、日本の伝統文化に根ざしたオペラの創造と普及のための活動を一段と充実させ、日本のオペラ界発展の一翼を担っている。当会が新作を委嘱したものを含む初演、改訂を委嘱したものを含む再演などを通じてさまざまな成果をあげ、中でも三木稔作曲「春琴抄」、團伊玖磨作曲「夕鶴」、清水脩作曲「修

禅寺物語」、水野修孝作曲「天守物語」などは日本オペラのスタンダードなレパートリーとして定着している。2017年には、メゾ・ソプラノの郡愛子が総監督に就任。伊藤康英作曲「ミスター・シンデレラ」、なかにし礼台本／三木稔作曲のグランドオペラ「静と義経」、美内すずえ原作マンガ『ガラスの仮面』の作中劇「紅天女」のオペラ化、三木稔作曲「源氏物語」の日本語初演、倉本聰原作「ニンゲル」のオペラ化など、オペラファンのみならず幅広い年代の客層にオペラを普及するため、日本オペラの可能性を最大限に広げ、その魅力を多くのお客様に伝えられるような公演創りを目指し今日まで活動を続けている。

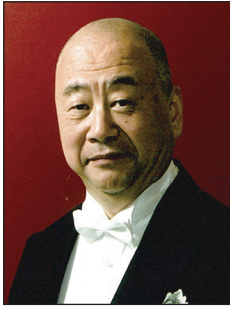


公益財団法人日本オペラ振興会

理事長 渡辺 佳英 Yoshihide WATANABE

大崎電気工業株式会社 代表取締役会長

学 歴	1972年3月	慶應義塾大学 工学部 計測工学科 卒業
職 歴	1975年9月	ランディス・アンド・ギア (株) (スイス) 入社
	1977年1月	(株) 野村総合研究所入社
	1980年7月	大崎電気工業 (株) 入社 取締役
	1984年7月	同社 常務取締役
	1986年7月	同社 専務取締役
	1987年6月	同社 代表取締役副社長
	1988年11月	同社 代表取締役社長
	2009年1月	同社 代表取締役会長
公職歴	2009年8月	特定非営利活動法人 東京都更生保護就労支援事業者機構 会長
	2017年12月	経済産業省 産業サイバーセキュリティ研究会 委員
	2018年4月	文部科学省 日本ユネスコ国内委員会文化活動小委員会 調査委員
民間団体歴	1999年6月	東京経営者協会 副会長
	2000年11月	アジアハンドボール連盟 副会長
	2000年11月	国際ハンドボール連盟 理事
	2011年4月	(公財) 東京タクシーセンター 会長
	2013年11月	東京商工会議所 特別顧問
	2018年11月	慶應義塾 評議員
	2019年6月	(公財) 日本ハンドボール協会 名誉会長
	2020年6月	(公財) 日本オペラ振興会 理事長



藤原歌劇団総監督

折江 忠道 Tadamichi ORIE (バリトン)

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。ミラノ・ヴェルディ音楽院で学ぶ。1982年ヴィオッティ国際コンクール第2位。1982年・83年アレクサンドリア国際コンクールを優勝し、82年の優勝により、アレクサンドリア劇場「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロールでデビュー以降、欧州各地で「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「リゴレット」等主要な役で活躍。フェニーチェ劇場主催ロッシニ「小荘厳ミサ」、フォーレ「レクイエム」等のコンサートや音楽祭に多数出演。92年ミラノでRAI（イタリア国营放送）にてオーケストラと共演。藤原歌劇団には1988年「ラ・トラヴィアータ」ジェルモンで大成功を収め、数々の作品で好評を博している。新国立劇場、びわ湖ホール、愛知県立芸術劇場のオペラや、「第九」、NHKニューイヤーオペラコンサートをはじめ各種コンサートに出演し、日本を代表するプリモ・バリトンとして活躍を続けている。2016年より藤原歌劇団第五代総監督就任。第16回ジロー・オペラ賞受賞。昭和音楽大学特任教授。

公益財団法人日本オペラ振興会 常務理事

公益財団法人 新国立劇場運営財団 評議員



藤原歌劇団公演監督 (2025年4月～)

角田 和弘 Kazuhiro TSUNODA (テノール)

国立音楽大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。83年矢田部賞受賞。85年第16回イタリア声楽コンクールでミラノ大賞受賞。2000年第3回上毛音楽賞受賞。84年国立音楽大学大学院主催「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロールでオペラ・デビュー。88年3月「ラ・トラヴィアータ」のアルフレードで藤原歌劇団にデビュー、その後89年からは文化庁在外研修員としてミラノに2年間留学。コセンツァ・パタフライ・コンクール第2位、エンナ国際音楽コンクール入賞のほか、ボンで「第九」に出演。群馬県内では95年オペラ・アンサンブル・ぐんまを結成し、若き演奏家を育てながら自らも演奏し、その一方では演出家としても活躍。2001年は第16回国民文化祭・ぐんま2001で歌劇「みづち」の総合アドバイザーを務める傍ら、主役小太郎を演じ、2004年には新国立劇場での再演にも出演。2006年には前橋高崎市民オペラ「ヘンゼルとグレーテル」の総監督・演出を担当。NPO法人東京国際楽友協会理事長補佐、日本プッチーニ協会副会長、群馬オペラ協会会長。

藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。現・団員委員会委員長。



日本オペラ協会総監督

郡 愛子 Aiko KORI (メゾ・ソプラノ)

1975年に日本オペラ協会より、1978年に藤原歌劇団より、それぞれデビュー。日本初演オペラや創作オペラなどで卓越した才能を発揮するとともに顕著な実績が認められ、日本で唯一のオペラ賞であったジロー・オペラ賞を、1985年・86年に2年連続で受賞。また1987年には、自身初のリサイタル「オルフェオの世界」で昭和62年度文化庁芸術祭賞を受賞。これまで両所属団体の公演はもとより、小澤征爾指揮「ヘネシー・オペラ・シリーズ」、新国立劇場主催公演、ほか数多くのオペラに出演。2017年度からは、日本オペラ協会総監督として日本オペラの振興と発展に全力を注ぎ、2017年度「ミスター・シンデレラ」「夕鶴」、2018年度 日本オペラ協会創立60周年記念公演「静と義経」の東京初演、2019年度 スーパーオペラ歌劇「紅天女」の新作初演と、幅広い演目で公演を重ねてきている。

公益財団法人日本オペラ振興会 常務理事

公益社団法人日本演奏連盟 理事

公益財団法人日本オペラ振興会
藤原歌劇団&日本オペラ協会
2025/2026 シーズンラインアップ

藤原歌劇団公演

C. グノー作曲

「ロメオとジュリエット」オペラ全5幕／セミ・ステージ形式

ニュープロダクション（新制作）

2025年4月26日（土）・27日（日） テアトロ・ジーリオ・ショウワ

藤原歌劇団公演（共催：新国立劇場・東京二期会）

G. ヴェルディ作曲

「ラ・トラヴィアータ」オペラ全3幕

2025年9月5日（金）・6日（土）・7日（日） 新国立劇場 オペラパレス

藤原歌劇団公演

G. プッチーニ作曲

「妖精ヴィツリ」オペラ全2幕

ニュープロダクション（新制作）

P. マスカーニ作曲

「カヴァレリア・ルスティカーナ」オペラ全1幕

ニュープロダクション（新制作）

2026年1月31日（土）・2月1日（日） 東京上野

2月7日（土） 愛知県芸術劇場 大ホール

日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズ No.88

大石みちこ原作・脚本／渡辺俊幸作曲

「奇跡のプリマ・ドンナ ～オペラ歌手・三浦環の「声」を求めて～」オペラ全2幕

新作・世界初演

2026年3月7日（土）・8日（日） 新宿文化センター 大ホール

藤原歌劇団公演

C. グノー作曲

「ロメオとジュリエット」 オペラ全5幕/セミ・ステージ形式
ROMÉO ET JULIETTE

2025年4月26日(土)・27日(日) テアトロ・ジーリオ・ショウワ 【全2回公演】

指揮 Conductor	園田隆一郎 Ryuichiro SONODA	
演出 Stage Director	松本重孝 Shigetaka MATSUMOTO	
	4/26	4/27
ロメオ Roméo	清水徹太郎 Tetsutaro SHIMIZU	山本康寛 Yasuhiro YAMAMOTO
ジュリエット Juliette	光岡暁恵 Akie MITSUOKA	米田七海 Nanami YONEDA
メルキューシオ Mercutio	井出壮志朗 Soshiro IDE	市川宥一郎 Yuichiro ICHIKAWA
ティバルト Tybalt	渡辺 康 Yasushi WATANABE	工藤翔陽 Shoyo KUDO
修道士ローラン Frère Laurent	伊藤貴之 Takayuki ITO	久保田真澄 Masumi KUBOTA
ステファノ Stéphano	山川真奈 Mana YAMAKAWA	石田 滉 Kirara ISHIDA
キャピュレット Capulet	坂本伸司 Shinji SAKAMOTO	小野寺 光 Hikaru ONODERA
ジェルトリュード Gertrude	高橋未来子 Mikiko TAKAHASHI	山本千鶴 Chizuru YAMAMOTO
パリス Pâris	相沢 創 (両日) Hajime AIZAWA	
グレゴリオ Grégorio	和下田大典 Daisuke WAGETA	岩美陽大 Yodai IWAMI
ヴェロース大公 Le Duc de Vérone	東原貞彦 (両日) Sadahiko HIGASHIHARA	

合 唱：藤原歌劇団合唱部 Fujiwara Opera Chorus Group

管弦楽：テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ Orchestra del Teatro Giglio Showa

スタッフ

合唱指揮・副指揮 Chorus Master & Assistant Conductor	玉崎優人 Masato TAMASAKI
美 術 Scenery Designer	増田寿子 Sumiko MASUDA
衣 裳 Costume Designer	前岡直子 Naoko MAEOKA
照 明 Lighting Designer	成瀬一裕 Kazuhiro NARUSE
舞台監督 Stage Manager	菅原多敢弘 Takahiro SUGAHARA
演出助手 Assistant Stage Director	手塚優子 Yuko TEZUKA

主催：公益財団法人日本オペラ振興会



指揮：園田隆一郎

Conductor: Ryuichiro SONODA

ボローニャ歌劇場、トリエステ歌劇場などを指揮し、国際的な活動を展開する気鋭の指揮者。オペラ、シンフォニーの両分野で活躍する指揮者のひとりである。2006年、シエナのキジャーナ夏季音楽週間「トスカ」を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団「ラ・ボエーム」を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシェニ・オペラ・フェスティバル「ランスへの旅」を指揮、その後もジェノヴァ歌劇場、フランダース・オペラをはじめ、フィレンツェのトスカーナ管弦楽団、カタニアのベッリーニ大劇場管弦楽団の演奏会を指揮。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ねている。また、数々のオペラ歌手とのコンサートにおいて、共演ピアニストとしても評価が高い。2024年は、新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室「トスカ」、東京文化会館オペラBOX「トスカ」、藤沢市民オペラ「魔笛」、2025年には、びわ湖ホール「三文オペラ」、札幌hiraruオペラプロジェクト「ドン・ジョヴァンニ」などのオペラ公演や、パシフィックフィルハーモニア東京定期演奏会をはじめオーケストラ演奏会へ出演を予定している。2004年シエナ・ロータリークラブ カルロ・コルシーニ音楽賞、2005年第16回五島記念文化賞オペラ新人賞、2017年第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞、令和4年度 第73回芸術選奨文部科学大臣新人賞の各賞を受賞。パシフィックフィルハーモニア東京 指揮者。藤沢市民オペラ芸術監督。



演出：松本重孝

Stage Director: Shigetaka MATSUMOTO

東京室内歌劇場第一回旗揚げ公演に舞台監督助手として参加。舞台全般について舞台監督の田原進氏に学ぶ。その後、藤原歌劇団をはじめ二期会、関西歌劇団などでオペラ150公演余の演出助手を務める。演出を栗山昌良、佐藤信、故・粟國安彦の各氏に師事。1984～85年に渡伊し研鑽を積む。帰国後は藤原歌劇団を中心に外来演出家による公演で助手として活躍し、1987年台北オペラに招かれ「リゴレット」で演出家デビュー。藤原歌劇団には1992年「ラ・トラヴィアータ」で演出家としてデビューし、同年「カルメン」、1993年「ラ・ボエーム」でも成果を挙げて世評を高め、着実にキャリアを築き上げた。藤原歌劇団による粟國安彦演出「蝶々夫人」では、粟國亡き後、数多くの再演演出を手掛け、2005年マカオ国際音楽祭公演を成功に導き、日本を代表する演出家として確固たる地位を確立する。以降「カルメル会修道女の対話」「タンクレーディ」「セビリヤの理髪師」「オリア伯爵」「ランスへの旅」「カブレーティ家とモンテッキ家」「リゴレット」「清教徒」「トスカ」「劇場のわがままな歌手たち」を新制作し、手堅い演出で好評を博している。日本オペラ協会では、2000年原嘉壽子作曲「瀧廉太郎」（東京初演）を演出後、「美女と野獣」「ミスター・シンデレラ」などを手掛けている。2002年、ミラノ・ストレーラー劇場「蝶々夫人」でイタリアデビュー。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部、各地オペラ・スタジオでの指導など、若手歌手の育成にも力を注いでいる。東京都出身。



ロメオ：清水徹太郎（テノール）

Roméo : Tetsutaro SHIMIZU (Tenor)

京都市立芸術大学卒業、同大学大学院修了。第33回飯塚音楽コンクール第1位、文部科学大臣賞受賞。第9回東京音楽コンクール第3位、第82回日本音楽コンクールファイナリスト、第20回ABC新人オーディション音楽賞、2012年度音楽クリティッククラブ奨励賞、第38回灘ライオンズクラブ音楽賞など受賞多数。マスタークラスオペラアカデミー in スタディオアマデウス第一期特待研修生修了。指揮者からの信頼も厚く、マダム・バタフライコンクールにおいてはオーケストラ及び指揮者より特別賞が授与された。オペラでは、「カルメン」ドン・ホセ、「夕鶴」とひょう、「ラ・トラヴィアータ」アルフレード、「魔笛」タミーノ、「オテロ」カッシオ、「ファルスタッフ」フェントン、「業平」タイトルロールなどの他、2017年びわ湖ホールプロデュースオペラ「ラインの黄金」ローグ、同年NHK音楽祭フェドセーエフ指揮「エフゲニー・オネーギン」トリケでの活躍は、高い評価を得た。2018年日生劇場「魔笛」僧侶、兵庫県芸術文化センター／佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ「魔弾の射手」キリアン、2023年日生劇場「メデア」ジャージーネで好評を得ている。室内楽・宗教曲等では、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」エヴァンゲリスト、「第九」「合唱幻想曲」「メサイア」「天地創造」「カルミナ・ブラーナ」など多数のソリストとして活躍している。2025年2月、藤原歌劇団創立90周年記念公演「ファルスタッフ」のフェントンの出演を予定しており、当団デビューとなる。

藤原歌劇団団員。びわ湖ホール4大テノール。大阪音楽大学、京都市立芸術大学各非常勤講師。兵庫県出身。



ロメオ：山本康寛（テノール）

Roméo : Yasuhiro YAMAMOTO (Tenor)

京都市立芸術大学卒業、同大学大学院修了。第82回日本音楽コンクール第2位。第32回飯塚新人音楽コンクール第1位及び文部科学大臣賞受賞。第51回日伊声楽コンクール第2位及び五十嵐喜芳賞受賞。五島記念文化財団の奨学生としてイタリアに留学。平成24年度平和堂財団芸術奨励賞受賞。第24回青山音楽賞・音楽賞受賞。第26回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。2014年びわ湖ホール公演／コルンゴルト作曲「死の都」(日本初演)のバウルで本格的にオペラデビュー。その後、2015年藤原歌劇団公演「ランスへの旅」のリーベンスコフ伯爵で大成功を収め注目を浴びた。2016年日生劇場「セビリアの理髪師」のアルマヴィーヴァ伯爵で出演。同年ペーザロにてロッシェニ・アカデミーのオーディションに合格しゼッダ氏の指導を受け、ロッシェニ・オペラ・フェスティバルのアカデミー公演にて「ランスへの旅」のリーベンスコフ伯爵でイタリアデビュー。藤原歌劇団には2018年「ラ・チェネレントラ」ドン・ラミーロ、2019年「ランスへの旅」のリーベンスコフ伯爵に再登場し、いずれも好評を得ている。2008～14年、びわ湖ホール声楽アンサンブル専属歌手を経て、現在びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー、またびわ湖ホール4大テノールとして活躍中。

藤原歌劇団員。日本オペラ協会会員。愛知県出身。

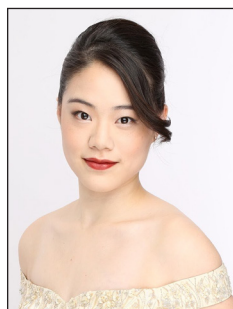


ジュリエット：光岡暁恵（ソプラノ）

Juliette : Akie MITSUOKA (Soprano)

昭和音楽大学卒業、同大学大学院修了。平成14年度文化庁新進芸術家国内研修員。平成16年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として渡伊。2007年からチューリッヒ歌劇場のオペラ研修生IOSメンバーとして2年間研鑽を積む。Bunkamura／産経新聞主催「第2回オペラティックバトル」第1位。第39回日伊声楽コンクール第3位。2008年静岡オペラ国際コンクール優勝（日本人初）、同時にオーディエンス賞、三浦環特別賞の三冠獲得。2000年昭和音楽大学オペラ公演「愛の妙薬」のアディーナでデビュー後、同公演「ドン・パスクワレ」ノリーナ、「夢遊病の娘」アミーナ、「ルチア」タイトルロールなどを好演。藤原歌劇団には、06年「ランスへの旅」フォルヴィル伯爵夫人でデビューし成功を収め、「ルチア」タイトルロール、「夢遊病の女」アミーナ、「ラ・トラヴィアータ」ヴィオレッタ、「愛の妙薬」アディーナ、「カプレーティ家とモンテッキ家」ジュリエッタ、「ランスへの旅」コリンナ、「リゴレット」ジルダ、「清教徒」エルヴィーラで好評を得ている。2016年「アルベルト・ゼッダ スペシャルコンサート」において、カンタータ「テーティとペレーオの結婚」の難役チェーレレで出演し、高い評価を得た。ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパンでの「バロックコンサート」に2019・20・21年と連続出演しており、高い評価を得ている。2025年1・2月には、東京と名古屋にて藤原歌劇団創立90周年記念公演「ファルスタッフ」のナンネッタで出演を予定している。第39回川崎市アゼリア輝賞受賞。

藤原歌劇団員。昭和音楽大学非常勤講師。埼玉県出身。



ジュリエット：米田七海（ソプラノ）

Juliette : Nanami YONEDA (Soprano)

昭和音楽大学卒業、同大学大学院修了。2019年V.テッラノーヴァ国際声楽コンクール第3位。2020年かわさき声楽コンクール第2位。2020年昭和音楽大学オペラ「ドン・ジョヴァンニ」のヴェルリーナで本格デビュー。2021年同大学大学院修了公演「ドン・パスクワレ」ノリーナ、2023年昭和音楽大学オペラ「愛の妙薬」のアディーナで好評を得ている。藤原歌劇団には、2022年「イル・カンビエッロ」のニューゼでデビュー。また、同年につぼ丸オペラクルーズ／藤原歌劇団公演「こうもり」のイーダ、2023グランドオペラフェスティバル in Japan「ラ・ボエム」のムゼッタで出演。その他、2021年昭和音楽大学公演「メサイア」のソプラノソロに抜擢されるなど活躍を始めており、2023年4月にはバリで開催されたOpera for Peace主催「第2回オペラ・フォー・ピース アカデミーマスタークラス」に参加。世界的歌手であるT.ハンブソンやS.ジョーら豪華講師陣によるレッスンを受け研鑽を積み、エヴァ・クライニッツ財団からの奨学金を得てOpera for Peace財団が主催するマスタークラスにも参加。2024年8月ペーザロにてロッシェニ・アカデミーへ参加し、ロッシェニ・オペラ・フェスティバルのアカデミー公演にて「ランスへの旅」のフォルヴィル伯爵夫人でイタリアデビュー。今後の活躍が期待されている新進ソプラノ。

藤原歌劇団員。東京都出身。

藤原歌劇団公演（共催：新国立劇場・東京二期会）

G.ヴェルディ作曲

「ラ・トラヴィアータ」 オペラ全3幕
LA TRAVIATA

2025年9月5日（金）・6日（土）・7日（日）新国立劇場 オペラパレス【全3回公演】

指揮
Conductor
阿部加奈子
Kanakano ABE

演出
Stage Director
粟國 淳
Jun AGUNI

	9/5	9/6	9/7
ヴィオレッタ Violetta Valéry	迫田美帆 Miho SAKODA	田中絵里加 Erika TANAKA	森野美咲 Misaki MORINO
アルフレード Alfredo Germont	笹田博昭 Hiroaki FUEDA	松原 陸 Riku MATSUBARA	笹田博昭 Hiroaki FUEDA
ジェルモン Giorgio Germon	折江忠道 Tadamichi ORIE	押川浩士 Hiroshi OSHIKAWA	折江忠道 Tadamichi ORIE
フローラ Flora Bervoix	古澤真紀子 Makiko FURUSAWA	北園彩佳 Saika KITAZONO	古澤真紀子 Makiko FURUSAWA
ガストン Gastone	堀越俊成 Toshinari HORIKOSHI	工藤翔陽 Shoyo KUDO	堀越俊成 Toshinari HORIKOSHI
ドゥフォーール Barone Douphol	アルトゥーロ・エスピノーサ Arturo ESPINOSA	龍 進一郎 Shinichiro RYU	アルトゥーロ・エスピノーサ Arturo ESPINOSA
ドビニー Marchese d'Obigny	坂本伸司 Shinji SAKAMOTO	大塚雄太 Yuta OTSUKA	坂本伸司 Shinji SAKAMOTO
グランヴィル Dottor Grenvil	豊嶋祐壹 Yuichi TOYOSHIMA	相沢 創 Hajime AIZAWA	豊嶋祐壹 Yuichi TOYOSHIMA
アンニーナ Annina	石井和佳奈 Wakana ISHII	萩原紫以佳 Shiika HAGIWARA	石井和佳奈 Wakana ISHII
ジュゼッペ Giuseppe	濱田 翔 Sho HAMADA	原 優一 Yuichi HARA	濱田 翔 Sho HAMADA
使者 Commissionario	江原 実（全日） Minoru EBARA		
召使 Domestic	岡山 肇（全日） Hajime OKAYAMA		

合唱：藤原歌劇団合唱部 Fujiwara Opera Chorus Group

新国立劇場合唱団 New National Theater Chorus

二期会合唱団 Nikikai Chorus Group

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra

スタッフ

合唱指揮
Chorus Master

安部克彦
Katsuhiko ABE

美術&衣裳
Scenery Designer & Costume Designer

アレッサンドロ・チャンマルーギ
Alessandro CIAMMARUGHI

照明
Lighting Designer

原中治美
Harumi HARANAKA

振付
Choreographer

伊藤範子
Noriko ITO

舞台監督
Stage Manager

菅原多敢弘
Takahiro SUGAHARA

主催：公益財団法人日本オペラ振興会

共催：公益財団法人新国立劇場運営財団／公益財団法人東京二期会



指揮：阿部加奈子

Conductor : Kanako ABE

オランダ在住。東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、パリ国立高等音楽院にて作曲に関連する6つの課程とともに日本人として初めて同音楽院指揮科で学び、フォンティス総合芸術大学大学院指揮科(オランダ)にて修士号を取得。パリ国立高等音楽院在学中より、ヨーロッパを活動の拠点に、指揮者、ピアニスト、作曲家として多方面で活躍する。2005年にはパリ管弦楽団やアンサンブル・アンテルコンタンポラン等のメンバーからなる現代音楽アンサンブル「ミュルチラテラル」を創設、2014年まで音楽監督を務める。また、その間にチューリッヒ歌劇場やモンペリエ国立歌劇場でファビオ・ルイーダ、エンリケ・マツォーラ、ロレンス・フォスター等のアシスタントを務める。これまでにギャルド・レピュブリケーヌ管弦楽団、イル・ド・フランス国立管弦楽団、モンペリエ国立管、ロレーヌ国立管など、日本国内では東京フィル、新日本フィル、兵庫芸術文化センター管などと共演している。2024年1月、藤原歌劇団公演「ファウスト」にて日本オペラ・デビュー。2022年7月に、ブシュラ・エル＝トゥルクのオペラ「Woman at Point Zero」の世界初演でエクサン・プロヴァンス音楽祭、2023年6月にコヴェントガーデン王立歌劇場、2024年5月にウィーン芸術週間に、2025年3月には、ブシュラ・エル＝トゥルクの新作オペラ「OUM」の世界初演でオランダ国立歌劇場にデビューを果たす。現在、フランス・ドーム交響楽団の芸術監督兼音楽監督、アンサンブル・オロチの創設者兼音楽監督を務める。ハーグ音楽院非常勤講師。大阪府出身。<https://www.kanakoabe.com>



演出：栗國 淳

Stage Director : Jun AGUNI

東京生まれローマ育ち。ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院でヴァイオリンと指揮法を学ぶ。オペラの演技・演出法をM.ゴヴォーニに師事。1998年文化庁派遣芸術家在外研修員。舞台監督集団ザ・スタッフ/田原進氏のもとで学ぶ。97年藤原歌劇団の「愛の妙薬」で演出家デビュー以降、新国立劇場「セビリアの理髪師」「ラ・ボエーム」「おさん」「フィレンツェの悲劇/ジャンニ・スキッキ」「幸せな間違い」「外套」、東京二期会「仮面舞踏会」、北とびあ国際音楽祭「オランダ」、サントリー音楽財団創設40周年記念オペラ「パン屋大襲撃」、愛知トリエンナーレ「ホフマン物語」、紀尾井ホールオペラ「オリンピアデ」、日生劇場「アイナダマール(日本初演)」「セビリアの理髪師」「アラジンと魔法のランプ」、びわ湖ホール・二期会・神奈川県民共同制作「トゥーランドット」「アイーダ」「オテロ」、藤原歌劇団「イル・カンピエッロ」「仮面舞踏会」「ファルスタッフ」「ノルマ」「ラ・トラヴィアータ」、日本オペラ協会「キジムナー時を翔ける」(第29回三菱UFJ信託音楽賞受賞)等日本各地で様々な作品を手がける。海外でも多くの作品を手掛け、批評家陣から熱狂的な賛辞を送られている。印象的かつスタイリッシュな舞台を繰り広げながら、そのベースに終始一本の絹糸が通っているかの様に細やかな人物像を描きあげる一方、視覚的にエネルギー溢れる演出を手がけるなど、その抜群のセンスは国際的にも評価が高い。2011年度エクソンモービル音楽賞奨励賞受賞。新国立劇場オペラ研修所演出主任講師。日生劇場芸術参与。



ヴィオレッタ：迫田美帆 (ソプラノ)

Violetta Valéry : Miho SAKODA (Soprano)

東京藝術大学卒業。2017年、サントリーホール オペラ・アカデミー・アドバンスト・コース第2期修了。第50回日伊声楽コンクール、第13回東京音楽コンクール声楽部門第2位。第86回日本音楽コンクール声楽部門入選。藤原歌劇団には、2019年「蝶々夫人」のタイトルロールで鮮烈なデビューを飾って高評を博し、2021年「フィガロの結婚」伯爵夫人、2022年「イル・カンピエッロ」のルシエータ、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージで好評を得るなど、実力派若手ソプラノとして注目を集めている。また、ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン 2019「貞節の勝利」ではズボン役となるリッカルドを演じた。近年では、NISSAY OPERA 2021「ラ・ボエーム」(日本語訳詞上演) ミミ、東京文化会館 MusicProgram TOKYO シアター・デビュー・プログラム「ショパン」フローラ、兵庫県立芸術文化センター「蝶々夫人」、東京文化会館オペラBOX「トスカ」で出演。ソリストとしては、G. サッパティエーニ指揮/「第九」、ロッシーニ「小荘厳ミサ曲」に出演する他、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団の「第九」ソプラノソロを務めるなど各方面で活躍している。2023年夏には、アメリカ・ジョージア州にて開催されたサバンナ・ボイス・フェスティバルにて「蝶々夫人」で海外デビューを果たした。2024年11月、藤原歌劇団創立90周年記念公演・NISSAY OPERA 2024「ピーア・デ・トロメイ」のピーアで出演を予定している。藤原歌劇団団員。東京都出身。アメリカ在住。



ヴィオレッタ：田中絵里加（ソプラノ）

Violetta Valéry : Erika TANAKA (Soprano)

東京音楽大学卒業、同大学大学院修了。ヴェネツィア国立音楽院大学院声楽科首席修了。ラヴェンナ国立音楽院 現代音楽声楽科首席修了。平成 26 年度文化庁海外研修生、平成 29 年度さわかみオペラ財団奨学生としてミラノ・スカラ座研修所オペラソリストコース、ボローニャ歌劇場研修所オペラソリストコースで研鑽を積む。第 41 回イタリア声楽コンクールソミラノ大賞受賞。第 1 回“OperaLive”国際コンクール第 1 位。2012 年ボローニャ歌劇場にて「オリンピアデ」のアリステアに大抜擢されオペラデビューを果たす。同劇場では「ラ・トラヴィアータ」のヴィオレッタをはじめ、「ジャンニ・スキッキ」ラウレッタ、「ドン・パスクワレ」ノリーナ、「ドン・ジョヴァンニ」ゼルリーナなどを演じる。その他、ベルガモ・ドニゼッティ劇場、トラバーニ七月音楽祭、ヴェネツィア・マリブラン劇場、ポテンツァ・フランチェスコスタービレ劇場、マリオデルモナコ劇場、ブレーシャ・グランデ劇場など多くの劇場でオペラに出演する。2021 年座間市市制施行 50 周年記念「椿姫」のヴィオレッタで日本デビューを果たす。また、現代オペラ作品にも数多く出演している。「カルミナ・ブラーナ」ソプラノソリストとして、フラスキーニ歌劇場、マントヴァ歌劇場、コモ歌劇場で出演。今回が藤原歌劇団にデビューとなる。藤原歌劇団団員。千葉県出身。



ヴィオレッタ：森野美咲（ソプラノ）

Violetta Valéry : Misaki MORINO (Soprano)

東京藝術大学卒業、ウィーン国立音楽大学修士課程首席修了。ローム ミュージック ファンデーション奨学生、文化庁派遣海外研修員。第 27 回ヨハネス・ブラームス国際コンクール声楽部門にて日本人初優勝。第 87 回日本音楽コンクール声楽部門第 1 位。2019 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団夏のアカデミー「偽の女庭師」タイトルロールでオーストリアツアーを成功させ、2021 年エトリンゲン音楽祭「こうもり」アデーレ、2022 年バーデン市立劇場「ラ・トラヴィアータ」ヴィオレッタの他、近年は現代作品における活躍もめざましく、2023 年ジュネーブ大劇場「エレクトリック・ドリームズ」、ノイエ・オペラウィーン「キャプテンモモの図書館」、2021/2022 年 ルツェルン劇場「Zolle (土塊)」「ペレラ〜煙の男」等、数多くの現代オペラに出演。国内では、NHK 交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団等の共演をはじめ、NHK ニューイヤーオペラコンサート、「題名のない音楽会」、プロ野球オールスター戦開幕式にて国歌独唱を務めるなどメディアにも多く出演している。第 32 回出光音楽賞、マルセンスポーツ・文化賞「文化大賞」、五島記念文化賞オペラ新人賞、岡山県芸術文化賞グランプリ、山陽新聞奨励賞、エネルギー文化・スポーツ財団エネルギー賞受賞。今回が藤原歌劇団にデビューとなる。岡山県出身。https://www.misakimorino.com



アルフレード：笛田博昭（テノール）

Alfredo Germont : Hiroaki FUEDA (Tenor)

名古屋芸術大学音楽学部声楽科首席卒業、同大学大学院修了。第 37 回イタリア声楽コンクール・イタリア大使杯受賞。第 50 回日伊声楽コンクール第 1 位。第 20 回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。イタリアの輝きをもつ豊かでドラマティックな声と、日本人離れたスタイリッシュな歌唱フォームは比類なく、日本屈指のプリモテノールとしての地位は揺るぎない。2003 年、名古屋芸術大学特別公演「トゥーランドット」のカラフでオペラデビュー。2007 年、藤原歌劇団のオーディションで抜擢され「ラ・ボエーム」のロドルフォでデビュー以降、2009 年「ラ・ジョコンダ」エンツォ、2013 年「仮面舞踏会」リッカルド、2014 年・19 年「蝶々夫人」ピンカートン、2016 年「トスカ」カヴァラドッシ、「カブレーティ家とモンテッキ家」テバルド、2017 年「カルメン」ドン・ホセ、「ノルマ」ボッリオオーネ、2018 年「道化師」カニオ、2020 年「リゴレット」マントヴァ公爵、2021 年「ラ・ボエーム」同役など、藤原歌劇団のプリモテノールとして活躍を続けており、いずれも絶賛を博している。2023 年パレルモ・マッシモ歌劇場の引越し公演では、急遽代役として「ラ・ボエーム」のロドルフォで出演し、磨き抜かれた圧倒的な歌唱で大喝采を浴びた。2017 年より NHK ニューイヤーオペラコンサートに出演。新潟県湯沢町特別観光大使。藤原歌劇団団員。新潟県出身。



アルフレード：松原 陸（テノール）

Alfredo Germont : Riku MATSUBARA (Tenor)

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了、修了時に宗次徳二賞、武藤舞賞、BCJA奨学金を授与される。英国立音楽院に給付金付き特待生で合格。ロンドンを拠点に研鑽を積む。ミラノ市立音楽院在籍。イタリアにて第3回モンテロッソアルマーレ国際オペラコンクール第1位。国内では8つのコンクールで第1位及び総合グランプリ受賞。「コジ・ファン・トゥッテ」のフェランドでオペラデビュー。2018年にはイタリア・グアルディアグレーレオペラフェスティバル「リゴレット」のマントヴァ公爵にオーディションで選出され出演。

その他、「ラ・ボエーム」「ルチア」「愛の妙薬」「ドン・パスクワーレ」「ロメオとジュリエット」「伯爵令嬢マリツァ」など、特に近年活躍の幅を広げており、プリモ・テノールとして各地で数多のオペラやオペレッタに出演。テノールソリストとして40作品以上の幅広いレパートリーを有し、2022年にはイギリス・日英音楽協会30周年記念公演「メサイア」にソリストとして招聘され出演。また東京藝大フィルハーモニー「メサイア」やイルミナートフィルハーモニーオーケストラ「レクイエム」、富士山静岡交響楽団「天地創造」他数多の公演にソリストとして出演。藤原歌劇団には、2023年「ラ・ボエーム」ロドルフォのアンダースタディを経て、今回がデビューとなる。

藤原歌劇団団員。東京都出身。

ジェルモン：折江忠道（バリトン）

Giorgio Germont : Tadamichi ORIE (Baritone)

*2 頁参照



ジェルモン：押川 浩士（バリトン）

Giorgio Germont : Hiroshi OSHIKAWA (Baritone)

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第22期生修了。アレツォ市コンクールの勝利者として、「ラ・ボエーム」のマルチェッロでイタリアデビュー。藤原歌劇団には、11年「セビリヤの理髪師」フィオレッコでデビュー以降、「ランスへの旅」ドン・ブルデンツィオ及びドン・プロフォンド、「ドン・パスクワーレ」マラテスタ、「カルメン」モラレス及びダンカイロ、「セビリヤの理髪師」フィガロ、「ラ・チェネレントラ」ダンディーニ、「ドン・ジョヴァンニ」レポレッコ、「トスカ」堂守、「劇場のわがままな歌手たち」アガタ、「二人のフォスカリ」フランチェスコ・フォスカリ、「ラ・ボエーム」同役で出演し、いずれも

好評を得ている。その他「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵、「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール、「愛の妙薬」ベルコーレ及びドゥルカマーラ、「ジャンニ・スキッキ」タイトルロール、「ファルスタッフ」タイトルロール、「メリー・ウイドー」ダニロ、「こうもり」アイゼンシュタイン及びファルケ、「道化師」トニオ及びシルヴィオ、「カルメン」エスカミーリョ、「夕鶴」運ず、「ウェルテル」アルベール等のオペラその他、ミュージカルにも出演し、幅広く活躍している。新国立劇場には、11年こどものためのオペラ劇場「バルジファルとふしぎな聖杯」のアンフォルタスでデビュー。その他、フォーレ「レクイエム」、「第九」等のソリストや、日本歌曲の演奏会等、各地でコンサートに出演している。2025年2月、藤原歌劇団創立90周年記念公演「ファルスタッフ」のタイトルロールで出演を予定している。

藤原歌劇団団員。洗足学園音楽大学非常勤講師。宮崎県出身。高鍋町ふるさと応援大使。

<https://hiroshioshikawa.amebaownd.com>

藤原歌劇団公演

G. プッチーニ作曲

P. マスカーニ作曲

「妖精ヴィッリ」 オペラ全2幕
LE VILLI

「カヴァレリア・ルスティカーナ」 オペラ全1幕
CAVALLERIA RUSTICANA

2026年1月31日（土）・2月1日（日） 東京上野【全2回公演】

2月7日（土）愛知県芸術劇場 大ホール【全1回公演】

指揮
Conductor 柴田真郁
Maiku SHIBATA

演出
Stage Director 岩田達宗
Tatsuji IWATA

[妖精ヴィッリ]	1/31	2/1	2/7
アンナ Anna	砂川涼子 Ryoko SUNAKAWA	迫田美帆 Miho SAKODA	伊藤 晴 Hare ITO
ロベルト Roberto	澤崎一了 Kazuaki SAWASAKI	所谷直生 Naoki TOKORODANI	澤崎一了 Kazuaki SAWASAKI
グリエルモ・ウルフ Guglielmo Wulf	岡 昭宏 Akihiro OKA	清水良一 Ryoichi SHIMIZU	岡 昭宏 Akihiro OKA

[カヴァレリア・ルスティカーナ]

	1/31&2/7	2/1
サントウツツア Santuzza	桜井万祐子 Mayuko SAKURAI	小林厚子 Atsuko KOBAYASHI
トゥリッドゥ Turiddu	笛田博昭 Hiroaki FUEDA	藤田卓也 Takuya FUJITA
ルチア Lucia	牧野真由美 Mayumi MAKINO	米谷朋子 Tomoko MAIYA
アルフィオ Alfio	井出壮志朗 Soshiro IDE	森口賢二 Kenji MORIGUCHI
ローラ Lora	丹呉由利子 Yuriko TANGO	高橋未来子 Mikiko TAKAHASHI

合 唱：藤原歌劇団合唱部 Fujiwara Opera Chorus Group

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団（東京）／セントラル愛知交響楽団（愛知）

Tokyo Philharmonic Orchestra (TOKYO) / Central Aichi Symphony Orchestra (AICHI)

スタッフ

合唱指揮 Chorus Master	安部克彦 Katsuhiko ABE
美 術 Scenery Designer	松生紘子 Hiroko MATSUO
衣 裳 Costume Designer	下斗米大輔 Daisuke SHIMOTOMAI
照 明 Lighting Designer	大島祐夫 Masao OSHIMA
舞台監督 Stage Manager	菅原多敢弘 Takahiro SUGAHARA
演出助手 Assistant Stage Director	喜田健司 Kenji KITA

主催：公益財団法人日本オペラ振興会／[愛知公演のみ] 愛知県芸術劇場（愛知県文化振興事業団）



指揮：柴田真郁

Conductor: Maiku SHIBATA

1978年東京生まれ。国立音楽大学声楽科を卒業後、合唱指揮やアシスタント指揮者として藤原歌劇団、東京室内歌劇場等で研鑽を積む。2003年に渡欧、ドイツ各地の劇場、オーケストラで研鑽を積みながら、04年にウィーン国立音楽大学マスターコースでディプロムを取得。修了演奏会でヴィーデン・シンフォニーオーケストラ(ブルガリア)を指揮した。同年末には、ハノーファー・ジルベスター・コンサート(ドイツ)に客演し、プラハ室内管弦楽団を指揮。翌年末のベルリン室内管弦楽団にも客演、2年連続でジルベスターコンサートを指揮して大成功を取る。帰国後は主にオペラ指揮者として活動し、2010年、池辺晋一郎「死神」で日本オペラ協会にデビュー。同年、五島記念文化財団オペラ新人賞を受賞して研修生として再度渡欧し、イタリアの劇場を中心に研鑽を積んだ。最近では2018年にマスネ「ナヴァラの娘」(日本初演)、2019年にブッチェーニ「ラ・ボエーム」、2020年にはヴェルディ「リゴレット」、2021年にはベッリーニ「清教徒」をそれぞれ藤原歌劇団と共演。2020年11月には日生劇場にて「ルチア〜あるいはある花嫁の悲劇〜」、2023年日本オペラ協会公演「夕鶴」も指揮し、好評を博す。しなやかでありながらドラマティックな音楽作りには定評がある。

平成22年度(2010年)五島記念文化財団オペラ新人賞(指揮)受賞。2022年4月、大阪交響楽団ミュージックパートナーに就任。



演出：岩田 達宗

Stage Director: Tatsuji IWATA

東京外国語大学フランス語学科卒業。劇団「第三舞台」を経て、舞台監督集団ザ・スタッフに参加し、オペラの舞台製作にかかわる。1991年より栗山昌良氏に演出助手として師事。五島記念文化財団奨学生として1998年より欧州各地で研鑽を積む。帰国後、本格的に演出家として活動を始め、新古典主義の作品から現代の日本オペラまで数多くの公演で高い評価を得る。藤原歌劇団では2007年「ラ・ボエーム」で初演出以降「ラ・ジョコンダ」「ルチア」「夢遊病の女」「ラ・トラヴィアータ」「カルメン」「ドン・ジョヴァンニ」「ジャンニ・スキッキ」を手掛け、日本オペラ協会では2001年「キジムナー時を翔ける」でデビュー以降「葵上」「美女と野獣」「天守物語」「よさこい節」「夕鶴」「魅惑の美女はでデスゴッデス! (死神)」「源氏物語」「ニングル」等、独創的で卓抜なアイデアによる舞台造りは聴衆を魅了し続けている。リモートによる講義「岩田達宗道場」が開講されるなど、現在日本を代表するオペラ演出家の一人である。2007年よりいづみホール・オペラのプロデューサー、2021年よりひろしまオペラルネッサンスの芸術監督を務めている。第7回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。2006年度音楽クリティック・クラブ賞受賞。

大阪音楽大学客員教授。昭和音楽大学講師。兵庫県出身。



アンナ：砂川涼子 (ソプラノ)

Anna: Ryoko SUNAKAWA (Soprano)

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。2001年より第10回(財)江副育英会オペラ奨学生として、2005年より五島記念文化財団の奨学生として渡伊。第34回日伊声楽コンクール優勝。第69回日本音楽コンクール第1位。第12回リッカルド・ザンドナイ国際声楽コンクールでザンドナイ賞受賞。2000年新国立劇場小劇場オペラ「オルフェオとエウリディーチェ」で本格的デビュー。イタリアで研鑽を積みながら、2001年藤原歌劇団に「イル・カンピエッロ」のガスパリーナでデビュー。新国立劇場「トゥーランドット」リユー、「ドン・ジョヴァンニ」ツェルリーナ、「ドン・カルロ」天よりの声と出演を重ね、同劇場「カルメン」「魔笛」「ホフマン物語」「夜叉池」「ヴェルテル」「ジャンニ・スキッキ」等、容姿・実力を兼ね備えた歌唱は常に高い評価を得ている。藤原歌劇団には、「ランスへの旅」コリンナ、「ラ・ボエーム」ミミ、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「道化師」ネッタ、「ラ・トラヴィアータ」ヴィオレッタ等に出演し、常に絶賛されている。日本オペラ協会には、「キジムナー時を翔ける」カルカリナで初登場している。2023年「源氏物語」六条御息所、「夕鶴」つうで出演。オペラ夏の祭典2019-20 Japan⇄Tokyo⇄World、2020年グランドオペラ共同制作において「トゥーランドット」のリユーで出演し好評を得た。その他、FM名曲リサイタル、NHKニューイヤーオペラコンサートなど、各種演奏会で活躍を続けている。CD「砂川涼子/ベルカント」好評発売中。第16回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。2025年3月、日本オペラ協会公演「静と義経」の静で出演を予定している。

藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。武蔵野音楽大学非常勤講師。沖縄県出身。

アンナ：迫田美帆（ソプラノ）

Anna : Miho SAKODA (Soprano)

*8 頁参照



アンナ：伊藤 晴（ソプラノ）

Anna : Hare ITO (Soprano)

三重大学卒業、武蔵野音楽大学大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第 25 期生修了。ミラノ、パリで研鑽を積み、2013 年パリ地方音楽院修了。第 9 回藤沢オペラコンクール第 2 位。第 82 回日本音楽コンクール入選。これまでに、日本オペラ連盟文化庁新人育成公演「修道女アンジェリカ」タイトルロールをはじめ、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ、「フィガロの結婚」スザンナ、ブーランク「声」、丹波明「白峯」（世界初演）待賢門院などで出演し、いずれも高い評価を得ている。藤原歌劇団には、2014 年「ラ・ボエーム」のムゼッタでデビューし、以降 2017 年及び 2020 年「カルメン」ミカエラ、2019 年「ラ・トラヴィアータ」ヴィオレッタ、2019 年「愛の妙薬」アディーナ、2021 年「ラ・ボエーム」ミミ、2021 年及び 2023 年「蝶々夫人」タイトルロールでいずれも好評を得ている。その他、ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン 2019「貞節の勝利」ドラリーチェに出演。また、日本オペラ協会には 2016 年「天守物語」の亀姫、2018 年「夕鶴」つうで出演。新国立劇場には、2023 年「こうもり」のイーダで初登場し、同年「修道女アンジェリカ」オスミーナ、2024 年「夢遊病の女」リーザに出演。その他、小澤征爾指揮/セイジ・オザワ松本フェスティバル 15 ロームシアター京都竣工式「第九」、2018 年バッティストーニ指揮/東京フィルハーモニー交響楽団「カルミナ・ブラーナ」の他、2019・2021 年 NHK ニューイヤーオペラコンサート、NHK ナゴヤニューイヤーコンサート 2021 に出演し、好評を得ている。2024 年 11 月、藤原歌劇団創立 90 周年記念公演・NISSAY OPERA 2024「ピーア・デ・トロメイ」のピーアで出演を予定している。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。愛知県立芸術大学、武蔵野音楽大学各講師。三重県出身。



サントウツァ：桜井万祐子（メゾ・ソプラノ）

Santuzza : Mayuko SAKURAI (Mezzo Soprano)

名古屋芸術大学卒業。在学中にマスタークラスを受けた名古屋芸術大学客員教授 G. チャンネッラ氏の勧めで 2008 年に渡伊。オジモ・アルテ・リリカ・アカデミーに 1 年間在学し、15 年国立ミラノ・ヴェルディ音楽院卒業。以降もミラノに拠点を置き、世界各地でコンサートやオペラ公演に出演している。12 年ルクセンブルク・ネイ・シュティンメン声楽コンクール第 3 位。2009 年にイタリアデビュー。スイス・ルガーノにて「絹のはしご」ルチッラ、「フィガロの結婚」、ルクセンブルクにて「フィガロの結婚」ケルビーノ、ミラノにて「リゴレット」マッダレーナ等、各地で舞台に立つ。2014 年のイタリア・トル・デル・ラーゴのプッチーニ音楽祭で、「蝶々夫人」の続編として三枝成彰氏によって作曲された「Jr. バタフライ（伊語版）」において、現地オーディションを経て唯一の日本人キャストとしてスズキに抜擢され成功を収める。同作品は国内外で再演され、いずれも同役で出演し高い評価を得ている。藤原歌劇団には、2020 年「カルメン」タイトルロールでデビューし、同公演は新型コロナウイルスの影響下では初のオペラ公演に出演し話題を呼んだ。2022 年「イル・トロヴァトーレ」アズチーナでも出演。その他、スペインのセビリャ及びドイツのオペラ・クラシカ・ヨーロッパにて「カルメン」タイトルロール、韓国・大邱国立歌劇場及びドイツ・ボン歌劇場にて「蝶々夫人」スズキ、イタリア・オペラエスターテ音楽祭「イル・トロヴァトーレ」アズチーナ等、メゾ・ソプラノの主要な役で活躍を続けている。藤原歌劇団団員。愛知県出身。ミラノ在住。



サントウツァ：小林厚子（ソプラノ）

Santuzza : Atsuko KOBAYASHI (Soprano)

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。文化庁芸術インターンシップ研修員。文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてイタリアで研鑽を積む。藤原歌劇団にデビュー後、諸役を経て2007年「蝶々夫人」に抜擢されタイトルロールデビュー。その後同役は度々演じているほか、2018年には「ナヴァラの娘」(日本初演)のアニタ、2023年「トスカ」タイトルロールで高い評価を得た。新国立劇場には、高校生のためのオペラ鑑賞教室「蝶々夫人」「トスカ」で出演し、いずれも成功を取っている。2018年新国立劇場「トスカ」千秋楽公演においては急遽代役でタイトルロールを務めた。また、

2021年「ワルキューレ」ジークリンデ、「ドン・カルロ」エリザベッタに代役として登場し、いずれも高評を得ている。その他、首都オペラ「フランチェスカ・ダ・リミニ」フランチェスカ、八王子オリンパスホール「蝶々夫人」タイトルロール、オペラ彩「マリア・ストゥアルダ」エリザベッタ、「マクベス」マクベス夫人、「トスカ」タイトルロール、「ナブッコ」アビガイル、フィオーレオペラ「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナなどで出演を重ねている。15年イタリア・ピントでのトラエッタ・オペラフェスティバル「蝶々夫人」タイトルロールで、トラエッタ劇場及びクルチ劇場にてイタリアデビュー。また、演奏会形式では「ラ・トラヴィアータ」ヴィオレッタ、「ギョーム・テル」マチルド、「海賊」イモジェーネ、「マリア・ストゥアルダ」エリザベッタ、「スザンナの秘密」スザンナ、「イル・トロヴァトーレ」レオノーラ、「イエヌーファ」タイトルロール、「道化師」ネッダ、「トスカ」タイトルロール等でも好評を博している。

藤原歌劇団団員。財団法人地域創造登録アーティスト。長野県出身。

トゥリッドウ：笛田博昭（テノール）

Turiddu : Hiroaki FUEDA (Tenor)

*9頁参照



トゥリッドウ：藤田卓也（テノール）

Turiddu : Takuya FUJITA (Tenor)

島根大学卒業、同大学大学院修了。その後、欧州にて研鑽を積む。第6回 KOBE 国際学生音楽コンクール第1位。エンミー・デスティン創設音楽コンクール2004第2位。第40回アントニン・ドヴォルザーク国際音楽コンクール第2位。藤原歌劇団には、14年下関において創立80周年記念公演「藤原義江記念コンサート」の出演を経て、2015年「仮面舞踏会」のリッカルドでデビュー。以降、「ドン・パスクワレ」エルネスト、「カルメン」ドン・ホセ、「ノルマ」ボッリオーネ、「道化師」カニオ、「蝶々夫人」ピンカートン、「ラ・ボエーム」ロドルフォ、「トスカ」カヴァラドッシで出演。2023年9月には「二人のフォスカリ」ヤコポ・フォスカリで出演した。

日本オペラ協会には、「夕鶴」の与ひょうで出演。海外では、2016年ベルガモの聖ジョヴァンニ・ボスコ劇場「清教徒」のアルトゥーロでイタリアデビュー。また、2013年ミラノのダル・ヴェルメ劇場でのジルヴェスターコンサート出演の他、「メサイヤ」「第九」、モーツァルト及びヴェルディ「レクイエム」、プッチーニ「グロリア・ミサ」のソリストを務めた。第61回NHKニューイヤーオペラコンサートに出演。地元山口県では「ラポール音楽祭」や「おもしろオペラ塾」などのイベントプロデュースも手がける。平成20年度山口県芸術文化振興奨励賞受賞。平成25年度エネルギー音楽賞受賞。平成28年長門市子ども教育夢基金奨励賞。2024年11月、藤原歌劇団創立90周年記念公演・NISSAY OPERA 2024「ピーア・デ・トロメイ」のギーノで出演を予定している。

藤原歌劇団団員。大阪音楽大学特任准教授。くらしき作陽大学非常勤講師。山口県出身。 <http://fdinc.jp/fujitatakuya.html>

日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズ No.88

大石みちこ原作・台本／渡辺俊幸作曲

「奇跡のプリマ・ドンナ ～オペラ歌手・三浦環の「声」を求めて～」

オペラ全2幕

2026年3月7日（土）・8日（日）新宿文化センター 大ホール【全2回公演】

指揮 田中祐子
Conductor Yuko TANAKA
演出 岩田達宗
Stage Director Tatsuji IWATA

	3/7	3/8
三浦環	佐藤美枝子	相楽和子
MIURA Tamaki	Mieko SATO	Kazuko SAGARA

他

合 唱：日本オペラ協会合唱団 Nihon Opera Kyokai Chorus Group

管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団 Kanagawa Philharmonic Orchestra

主催：公益財団法人日本オペラ振興会



指揮：田中 祐子

Conductor: Yuko TANAKA

平成 30 年度（第 29 回）五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。受賞に伴い 2019 年渡仏。2020 年度ロームミュージックファンデーション奨学生。パリにて更なる研鑽と演奏活動を継続する。東京藝術大学大学院指揮科修士課程首席修了。2012 年より渡独し主にベルリンとミュンヘンにて研鑽を積む。東京国際コンクール「指揮」入選、プザンソン国際指揮者コンクール、ショルティ国際指揮者コンクールのセミファイナリスト。2013 年クロアチア国立歌劇場リエカ管弦楽団に招かれ海外デビュー。これまでに、全国各地のオーケストラと共演を重ねる。日生劇場、東京室内歌劇場、日本オペラ振興会等都内のオペラ団体にて副指揮、プロンプターとしてオペラ研鑽を積み、2015 年藤原歌劇団公演「ラ・トラヴィアータ」でオペラデビュー、2017 年日本オペラ協会公演「よさこい節」（於：新国立劇場）、2018 年名古屋二期会公演「ちゃんちき」、2019 年日本オペラ協会公演創立 60 周年記念公演「静と義経」、2023 年藤原歌劇団公演「二人のフォスカリ」、2024 年日本オペラ協会公演「ニングル」に登壇するなど、オペラ指揮者としても着実に実績を挙げている。2015-16-17 年シーズン NHK 交響楽団首席指揮者 P. ヤルヴィ公式アシスタント。その間、同団において C. デュトワ、C. エッセンバツハ、M. ヤノフスキをはじめ数々の公演のアシスタントおよび合唱指揮を担当。ジョン・ミョンフン指揮東京フィル公演の合唱指揮も担当した。2018 年～2020 年オーケストラ・アンサンブル金沢指揮者。NHK-E テレ「らららクラシック」や NHK-FM「名曲アルバム」、日テレ「読響シンフォニックライブ」、テレ朝「題名のない音楽会」等、メディア出演多数。

演出：岩田 達宗

Stage Director: Tatsuji IWATA

*12 頁参照



原作・台本：大石みちこ

Original / Libretto : Michiko OISHI

東京生まれ。東京藝術大学美術学部卒業。会社勤務を経て 2005 年、東京藝術大学大学院映像研究科映画専攻脚本領域入学、2007 年同修了。2023 年 4 月より東京藝術大学大学院映像研究科映画専攻教授。主な脚本執筆作品に映画『東南角部屋二階の女』（池田千尋監督）、映画『ゲゲゲの女房』（鈴木卓爾監督）、映画『ドライブイン蒲生』（たむらまさき監督）、アニメーション『ヒバクシャからの手紙—貴女へ—』（いまばやしゆか監督）、NHK スペシャル『星影のワルツ』、NHK・FMシアター『ロズさんでシャンソン』等がある。映画『ライク・サムワン・イン・ラブ（アッバス・キアロスタミ監督）』では日本語台詞監修をつとめた。2022 年、ノンフィクション『奇跡のプリマ・ドンナ～三浦環の声を求めて～』KADOKAWA 刊を出版。未公開の手紙、訳詞、当時の新聞記事等の資料を発掘し、環を知る人物の証言を踏まえ、明治～昭和期に「声」一つでプリマドンナの階段を駆け上がった三浦環の生涯に新たな光をあてた重厚なノンフィクションとして好評を博している。https://www.kadokawa.co.jp/product/322110000617/



作曲：渡辺俊幸

Composer : Toshiyuki WATANABE

作曲家・編曲家・指揮者。米国バークリー音楽大学にてハーブ・ボメロイ氏、マイケル・ギブス氏に師事。ボストン音楽院にて指揮法を学ぶ。帰国後は、様々なTVドラマや映画、アニメ等の音楽を手がけながら、さだまさし、平原綾香他のアーティストのプロデュース・編曲を担当するなど、純音楽も含め様々な分野で活躍中。作曲家としての代表作にNHK大河ドラマ「利家とまつ」「毛利元就」、NHKドラマ「大地の子」、NHK連続テレビ小説「ノンちゃんの夢」「かりん」「どんど晴れ」「おひさま」、フジテレビ「優しい時間」(脚本・倉本聰)、映画「平成モスラシリーズ」「サトラレ」「解夏」「UDON」「劇場版マジンガー Z / INFINITY」、テレビアニメ「宇宙兄弟」、「銀河機攻隊マジェスティックプリンス」「新幹線変形ロボ シンカリオン」、純音楽的作品「交響的幻想曲 能登」、祝典序曲「輝ける勇者たち」(防衛庁・自衛隊50周年記念曲)、オペラ「禅～ZEN」他がある。2005年愛知万博の開会式の音楽監督を担当。TVドラマ「リング～最終章～」で第20回ザ・テレビジョン・ドラマアカデミー賞、劇中音楽賞を受賞。平原綾香「おひさま～大切なあなたへ」で第53回日本レコード大賞編曲賞を受賞。2024年に日本オペラ協会で作新初演した「ニングル」の作曲を担当し、高い評価を得ている。

洗足学園音楽大学 音楽・音響デザインコース客員教授。日本音楽著作権協会理事。日本作編曲家協会副理事長。文化審議会正委員。<http://www.toshiyuki-watanabe.com/>

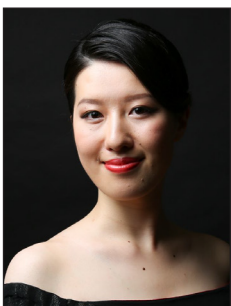


三浦環：佐藤美枝子 (ソプラノ)

MIURA Tamaki : Mieko SATO (Soprano)

武蔵野音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第0期生修了後、ローマに留学。1997～99年五島記念文化財団の奨学生として引き続きローマで研鑽を積む。大分県高等学校音楽コンクールをはじめとする数々のコンクールに入賞。第30回日伊音楽コンクール第2位。第64回日本音楽コンクール声楽部門第1位、同時に増沢賞、海外派遣特別賞受賞。第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門第1位。1995年ローマにて「リゴレット」のジルダでデビュー。イタリアで研鑽の傍ら日本でも演奏活動を行い、1999年新国立劇場に「カルメン」のミカエラでデビュー。藤原歌劇団には、2000年「ルチア」のタイトルロールでデビューを飾り、2011年にも同役で絶賛を博した。その他、「カプレーティ家とモンテッキ家」「イタリアのトルコ人」「ラ・トラヴィアータ」「ランスへの旅」「ラ・ボエーム」「リゴレット」「カルメル会修道女の対話」「オリーブ伯爵」「ドン・バスワーレ」「清教徒」などで常に絶賛を浴び、多数作品に出演している。日本オペラ協会には、「美女と野獣」「天守物語」「春琴抄」「よさこい節」「夕鶴」「源氏物語」「ニングル」に出演し、いずれも好評を博している。第7回五島記念文化賞オペラ新人賞、第9回出光音楽賞、第10回新日鐵音楽賞フレッシュアーティスト賞、第2回ロシヤ歌曲賞、第3回下總院一音楽賞、第50回ENEOS音楽賞洋楽部門本賞受賞。

藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。武蔵野音楽大学教授。大分県立芸術文化短期大学客員教授。大分県出身。



三浦環：相楽 和子 (ソプラノ)

MIURA Tamaki : Kazuko SAGARA (Soprano)

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。卒業時に武岡賞、修了時に最優秀賞を受賞。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第37期生修了。育成部入所時に、立石信雄研究生奨学金を授与される。2019年度第4回日本オペラ振興会立石信雄海外研修奨学生、2020年度さわかみオペラ芸術振興財団として、2019年よりイタリア・ミラノに留学。オージモ市立オペラアカデミーで研鑽を積む。第29回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第3位。下原千恵子、B.フリットリの各氏に師事。2016年国立音楽大学大学院オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」のドンナ・アンナでデビュー。2018年オペラ歌手育成部修了公演「フィガロの結婚」の伯爵夫人で高い評価を得た。日本オペラ協会には、20年「紅天女」タイトルロールのアンダースタディーを経て、21年「魅惑の美女はデスゴッデス! (死神)」のタイトルロール、2022年「咲く～もう一度、生まれ変わるために～」桜、2023年「源氏物語」紫上に出演し、いずれも高い評価を得ている。2024年には同協会公演「ニングル」のミクリで出演を予定している。留学中、イタリアにて多数コンサートに出演の他、日本国内でも、日本オペラ協会主催コンサート、2022年文化庁アートキャラバン事業「家族で楽しむ～神奈川フィル夏休みコンサート」に出演するなど、今後の活躍が注目されている新進ソプラノ。

日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。福島県出身。

2024/2025 シーズン

今後の公演予定

Opera

藤原歌劇団創立 90 周年記念公演・NISSAY OPERA 2024

ドニゼッティ作曲「ピーア・デ・トロメイ」ニュープロダクション（新制作）

2024 年 11 月 22 日（金）・23 日（土祝）・24 日（日）14:00 日生劇場

指揮：飯森範親／演出：マルコ・ガンディーニ

出演：伊藤 晴、迫田美帆、井出壮志朗、森口賢二、藤田卓也、海道弘昭、星 由佳子、北園彩佳、龍 進一郎、大澤恒夫、
琉子健太郎、西山広大、相沢 創、別府真也、黒川亜希子、三代川奈樹、濱田 翔

合唱：藤原歌劇団合唱部

管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団

藤原歌劇団創立 90 周年記念公演

ヴェルディ作曲「ファルスタッフ」ニュープロダクション（新制作）

2025 年 2 月 1 日（土）・2 日（日）14:00 東京文化会館大ホール

2025 年 2 月 8 日（土）14:00 愛知県芸術劇場大ホール

指揮：時任康文／演出：岩田達宗

出演：上江隼人、押川浩士、岡 昭宏、森口賢二、中井亮一、清水徹太郎、山口佳子、石上朋美、光岡暁恵、米田七海、
古澤真紀子、北園彩佳、松原広美、佐藤みほ、所谷直生、及川尚志、井出 司、川崎慎一郎、伊藤貴之、小野寺 光

合唱：藤原歌劇団合唱部

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団（東京公演）、名古屋フィルハーモニー交響楽団（愛知公演）

日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズ No.87

なかにし礼作・台本／三木 稔作曲「静と義経」ニュープロダクション（新制作）

2025 年 3 月 8 日（土）・9 日（日）14:00 東京文化会館大ホール

指揮：田中祐子／演出：三浦安浩

出演：砂川涼子、相楽和子、澤崎一了、海道弘昭、須藤慎吾、村松恒矢、江原啓之、杉尾真吾、鳥木弥生、城守 香、
川越塔子、家田紀子、芝野遥香、別府美沙子、持木 弘、角田和弘、川久保博史、勝又康介、三浦克次、中村 靖、和
下田大典、竹内利樹、琉子健太郎、濱田 翔、山田大智、龍 進一郎、黄木 透、平尾 啓、別府真也、江原 実、きのし
たひろこ、吉田郁恵

合唱：日本オペラ協会合唱団

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

詳細は公式 HP をご参照ください



MEMO

本件に関する報道関係者様からのお問合せ先 ※取材・インタビューのご依頼をお待ちしております。

公益財団法人日本オペラ振興会 広報・マーケティング部：中ノ森、外山

TEL.03-6721-0995 FAX.03-6721-0997

e-mail : press@jof.or.jp 公式 HP : <https://www.jof.or.jp>